

3) 専門科目群

専門科目群は、共通専門科目、欧米文化科目群、異文化理解科目群、思想・表現文化科目群、歴史・グローバル世界科目群、コミュニケーション科目群、言語・英語教育科目群、上級科目群、関連科目および演習科目からなっている。

表4 専門科目群

科目 ナンバリング	授 業 科 目 の 名 称	単 位		開 講 期		対 象 学 年	授 業 形 態 印 講 義	教 職	備 考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期								
共通専門科目群													
CHRI-A-200	キリスト教文化論A	2			○	3					●	●	
CHRI-A-200	キリスト教文化論B	2		○		3					●	●	
EACL-A-100	基礎ゼミA	1		○		1	演習						●
EACL-A-100	基礎ゼミB	1			○	1	演習						●
EACL-A-100	基礎ゼミC	1		○		2	演習						●
AREA-A-200	埼玉学	2			○	2					●		
AREA-A-300	埼玉と映像		2	○		2					●		
INTL-A-100	国際社会の基礎知識		1	○		1~	演習				●		
欧米文化科目群													
PHIL-A-100	哲学入門		2	○		1~			} 選択必修		●		
PHIL-A-100	倫理入門		2		○	1~					●		
ARTH-A-100	社会と芸術文化A		4	◎		1~			} 選択必修		●		
ARTH-A-100	社会と芸術文化B		4		◎	1~					●		
EURO-A-100	現代ヨーロッパ事情		4	◎		1~			} 選択必修		●		
AMER-A-100	現代アメリカ事情		4		◎	1~	選				●		
EURO-A-300	英語圏文化		4	◎		2~	選	※		●			
EURO-A-200	ドイツ語圏文化		4		◎	2~				●			
EURO-A-200	フランス語圏文化		4	◎		2~				●			
EURO-A-200	北欧の社会と文化		2		○	2~				●			
EURO-A-200	南欧の社会と文化A		2	○		2~				●			
EURO-A-200	南欧の社会と文化B		2		○	2~				●			
異文化理解科目群													
CCOM-A-100	異文化理解		4	◎		1~			★	●	●	●	●
CCOM-A-200	多文化共生論		4	◎		2~				●	●	●	
ANTH-A-200	文化人類学		4	◎		2~				●			
CCOM-A-300	Intercultural Communication		4		◎	2~				●	●	●	●
CCOM-A-400	異文化マネジメント		4		◎	1~				●	●	●	●
INTL-A-200	国際ボランティア入門A		2	○		1~				●	●	●	●
INTL-A-200	国際ボランティア入門B		2		○	1~				●	●	●	●
AREA-J-100	旅行業界論		2	○		1~				●	●	●	●
ANTH-A-300	ツーリズムと文化形成		4		◎	2~				●	●	●	●
CCOM-A-400	異文化コミュニケーション実習		1	○		2~	実習			●	●	●	●

備考欄※印：隔年開講

備考欄★印：前提条件（P. 70）参照

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修 制限 科目	教職	備考	○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP	DP	DP	DP
		必修	選択	春学期	秋学期						1	2	3	4
思想・表現文化科目群														
PHIL-A-200	思想(科学哲学)		2	○		2~						●		
PHIL-A-200	思想(倫理)		4	◎		2~						●	●	
PHIL-A-300	思想(キリスト教A)		2	○		2~						●	●	
PHIL-A-300	思想(キリスト教B)		2		○	2~						●	●	
EALI-A-200	英米文学概論		4	◎		2~						●		
WLIT-A-200	比較文学		4		◎	2~			※			●		
EALI-A-200	英米児童文学		4	◎		1~						●		
EALI-A-200	ファンタジー論		4		◎	2~						●		
ARTH-A-200	芸術と文化(西洋美術)		4	◎		2~						●		
ARTH-A-200	芸術と文化(舞台芸術)		4		◎	2~						●		
ARTH-A-200	芸術と文化(西洋音楽)		2	○		2~						●		
ARTH-A-300	視覚・表象文化(視覚文化A)		2	○		2~			※			●		
ARTH-A-300	視覚・表象文化(視覚文化B)		2		○	2~			※			●		
ARTH-A-300	視覚・表象文化(映画史)		4	◎		2~			※			●		
ARTH-A-300	視覚・表象文化(映像文化)		4		◎	2~			※			●		
ARTH-A-300	視覚・表象文化(グローバル時代の映像)		4		◎	2~			※			●		
AMER-A-300	アメリカ大衆文化		4	◎		2~						●		
WLIT-A-300	翻訳文化論		4		◎	2~			※			●		
COMM-A-100	出版と編集		4	◎		2~						●		
ARTH-A-400	表現文化実習A		1		○	2~		実習			●	●		●
ARTH-A-400	表現文化実習B		1		○	2~		実習			●	●		●
JLIT-A-400	Japanese Literature		4		◎	2~			★			●		
歴史・グローバル世界科目群														
HIST-A-100	グローバル世界の歴史A		4	◎		1~						●		
HIST-A-100	グローバル世界の歴史B		4		◎	1~						●		
HIST-A-200	ヨーロッパ文明の形成と発展		4		◎	1~			※			●		
HIST-A-200	ヨーロッパ近現代史		4	◎		1~			※			●		
AMER-A-200	アメリカ文化の形成		4	◎		1~						●		
AMER-A-300	ラテンアメリカ世界		4			2~						●		
HIST-A-200	イスラム文明		2	○		1~						●		
HIST-A-300	イスラムと現代世界		2		○	1~						●		
HIST-A-300	科学史		2			2~						●		
JHIS-A-400	Japanese History		4	◎		2~			★			●		
コミュニケーション科目群														
ENGL-A-100	TOEIC(初級) A		2	◎		1~								●
ENGL-A-100	TOEIC(初級) B		2		◎	1~								●
ENGL-A-200	TOEIC(中級) A		2	◎		1~			★					●
ENGL-A-200	TOEIC(中級) B		2		◎	1~			★					●
ENGL-A-300	TOEFL A		2	◎		1~			★					●
ENGL-A-300	TOEFL B		2		◎	1~			★					●
ENGL-A-200	就職に役立つ基礎英語		2	◎		2~								●
ENGL-A-200	職場で役立つ基礎英語		2		◎	2~								●
ENGL-A-400	グローバルコミュニケーションスキルズ		2	◎		2~			★					●
ENGL-A-400	グローバルリーディングスキルズ		2		◎	2~		必	★					●
ENGL-A-400	グローバルライティングスキルズ		2	◎		2~		必	★					●
ENGL-A-300	Public Speaking		4	◎		2~		必	★					●
ENGL-A-300	Academic Debate		4		◎	2~			★					●
ENGL-A-200	Media Literacy		4		◎	2~			★					●
ENGL-A-300	English through Literature		4	◎		2~			★		●		●	
ENGL-A-200	映画を通して学ぶ文化と英語		2	◎		2~					●		●	
ENGL-A-200	音楽を通して学ぶ文化と英語		2		◎	2~					●		●	
ENGL-A-200	英語スピーチ発音法		2		◎	2~								●

備考欄※印：隔年開講

備考欄★印：前提条件 (P. 70) 参照

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	授業形態 毎回は講義	教職	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期								
言語・英語教育科目群													
LING-A-200	言語とグローバル社会		4	◎		2~			※		●		
LING-A-400	Language in Society		4		◎	2~			★※		●		
LING-A-200	言語学概論		4	◎		2~					●		
EGLI-A-200	英語学概論		4	◎		2~		必			●	●	
EGLI-A-200	現代英文法		4		◎	1~		必			●	●	
EGLI-A-200	英語音声学		4	◎		1~		選			●	●	
ENGE-A-300	教えるための英文法		4		◎	2~		選			●	●	
ENGE-A-100	児童英語教育(理論)		2		○	1~					●	●	
ENGE-A-200	児童英語教育(カリキュラム・デザイン)		2	○		2~					●	●	
ENGE-A-200	児童英語教育(ワークショップA)		4		◎	2~				●		●	●
ENGE-A-200	児童英語教育(ワークショップB)		4	◎		2~				●		●	●
ENGE-A-300	児童英語教育(インターンシップI)		2		◎	2~	実習		★		●	●	●
ENGE-A-300	児童英語教育(インターンシップII)		2		◎	2~	実習				●	●	●
上級科目群													
PHIL-A-400	欧米文化特論(思想)		2	○		2~					●	●	●
ARTH-A-400	欧米文化特論(文学・表現文化)		2		○	2~					●	●	●
HIST-A-400	欧米文化特論(歴史)		2	○		2~					●	●	●
INTD-A-400	インディペンデント・スタディA		4			1~3					●	●	●
INTD-A-400	インディペンデント・スタディB		2			1~3					●	●	●
INTD-A-400	インディペンデント・スタディC		1			1~3					●	●	●
INTD-A-400	インディペンデント・スタディD		1			1~3					●	●	●
CCOM-A-400	海外研修A		4			1~3	実習				●	●	●
CCOM-A-400	海外研修B		4			1~3	実習				●	●	●
CCOM-A-400	海外研修C		2			1~3	実習				●	●	●
CCOM-A-400	海外研修D		1			1~3	実習				●	●	●
INTD-A-400	欧米文化化学特論		2	○		4			★		●	●	●
PHIL-A-400	ヨーロッパ思想の源流		2		○	3~			★		●	●	●
関連科目群													
TEAT-A-300	介護等体験及び事前事後指導		2		○	3	実習	選	中免必修			●	
TEAT-A-300	キリスト教と学校教育		2		○	2		選				●	
SOCL-A-100	社会調査入門		2	○		1~					●		●
SOCL-A-100	社会調査の方法		4		◎	1~			人数制限20名		●		●
STAT-A-200	社会統計学の基礎		2	○		2~					●		●
STAT-A-200	量的データ解析の方法		2		○	2~					●	●	●
SOCL-A-300	社会調査実践 I		2	○		2~			「社会調査の方法」を修得済みであること		●	●	●
SOCL-A-300	社会調査実践 II		2		○	2~					●	●	●

備考欄※印：隔年開講

備考欄★印：前提条件 (P. 70) 参照

科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象 学年	履修 制限	教職	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
		必修	選択	春学期	秋学期								
演習科目													
EACL-A-200	専門演習(キリスト教文化) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(キリスト教文化) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(ヨーロッパ史) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(ヨーロッパ史) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(英米文学) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(英米文学) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(多文化共生論) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(多文化共生論) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(映像文化) I		1		○	2~	演習	同一名称のI・IIを付 した2科目2単位以上 選択必修			●	●	●
EACL-A-300	専門演習(映像文化) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(文化受容論) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(文化受容論) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(国際理解) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(国際理解) II		1	○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(児童英語教育) I		1	○	○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(児童英語教育) II		1		○	3~	演習				●	●	●
EACL-A-200	専門演習(応用言語学) I		1		○	2~	演習				●	●	●
EACL-A-300	専門演習(応用言語学) II			○		3~	演習				●	●	●
EACL-A-300	卒業研究(キリスト教文化) I		1		○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(キリスト教文化) II		1	○		4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(ヨーロッパ史) I		1		○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(ヨーロッパ史) II		1	○		4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(英米文学) I		1		○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(英米文学) II		1	○		4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(多文化共生論) I		1		○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(多文化共生論) II		1	○		4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(映像文化) I		1		○	3~	演習	同一名称のI・IIを付 した2科目2単位以上 選択必修			●		●
EACL-A-400	卒業研究(映像文化) II		1	○		4	演習				●		●
EACL-A-300	卒業研究(文化受容論) I		1		○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(文化受容論) II		1	○		4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(国際理解) I		1		○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(国際理解) II		1	○		4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(児童英語教育) I		1	○		3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(児童英語教育) II		1		○	4	演習			●		●	●
EACL-A-300	卒業研究(応用言語学) I				○	3~	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業研究(応用言語学) II			○		4	演習			●		●	●
EACL-A-400	卒業論文		6			4				●		●	●

1. 履修条件が設定されている科目について

以下の科目に関しては、履修するための前提条件がそれぞれ設けてあるので、確認の上履修すること。
 なお、履修手続き方法については教務課・学科の指示に従うこと。

※スコアについては、TOEIC Bridge による換算点を基準としている。

科 目 名	単位数	対象 学年	前 提 条 件
Public Speaking	4	2～	TOEFL350点以上、TOEIC350点以上のいずれか
Academic Debate	4	2～	
TOEFL A	2	1～	
TOEFL B	2	1～	
TOEIC (中級) A	2	1～	
TOEIC (中級) B	2	1～	
グローバルコミュニケーションスキルズ	2	2～	
グローバルリーディングスキルズ	2	2～	
グローバルライティングスキルズ	2	2～	
Media Literacy	4	2～	
English through Literature	4	2～	
Intercultural Communication	4	2～	TOEFL380点以上、TOEIC380点以上のいずれか
Language in Society	4	2～	
Japanese History	4	2～	
Japanese Literature	4	2～	
児童英語教育 (インターンシップ I)	2	2～	児童英語教育科目を 1 科目以上修得済
ヨーロッパ思想の源流	2	3～	GPA3.0以上
欧米文化学特論	2	4～	GPA3.6以上

2. 演習科目について

演習科目は、専門演習と卒業研究からなる。専門演習と卒業研究は共に選択必修科目である。

- ① 専門演習は、事前登録によって決定する。事前登録は必ず行なわなくてはならない。事前登録の日時や選考方法等については、掲示およびガイダンスで通知する。
- ② 専門演習Ⅱを履修するには、同一名称の専門演習Ⅰを履修し単位を修得していること。
- ③ 卒業研究を履修するには、原則として同一名称の専門演習Ⅰ・Ⅱを履修し、単位を修得していること。

3. 卒業論文について

卒業研究の単位を修得した者が、指導教員の個別指導を受け、一定水準以上の論文を提出し、かつ口述試験に合格した場合には、「卒業論文」として6単位が与えられる。

- ① 卒業論文の執筆を希望する学生は、卒業研究の単位を修得後、教務課が定める履修登録日までに所定用紙にて願い出ること。指定期間に卒業論文の登録をしないと単位は認定されないのに注意すること。
- ② 卒業論文は、所定の期間（卒業年度各学期の13週目）に教務課窓口へ提出しなければならない。（ただし、提出締切日が休日の場合はその翌日、土曜日の場合は翌週月曜日までとする。）
- ③ 履修登録において、その学期に卒業論文の単位なしに卒業に最低必要な124単位以上を修得できる可能性がある場合にのみ、卒業論文の登録が可能である。
- ④ 卒業論文の登録をした学生は、学期間に行われる卒業論文中間報告会において、論文の概要及び研究経過を発表しなければならない。これがなされない場合には、論文提出が認められない。

4. インディペンデント・スタディ、海外研修について

欧米文化への関心・理解を深めるために、学生が自発的に語学研修・企業研修・研修旅行等に参加した場合、「インディペンデント・スタディ」「海外研修」として単位修得が可能である。単位修得を希望する者は、「インディペンデント・スタディ単位認定に関する内規」「海外研修単位認定に関する内規」に従い、事前に学科長に申請書を提出し、学科会の許可を経て、事前指導を受ける。事後、その研修内容により単位が認定される。

5. 卒業見込証明書の交付について

卒業見込証明書の発行を請求するには、3年次終了時点において在学期間（注1）が6セメスター以上（2年次編入生は4セメスター以上、3年次編入生は2セメスター以上）で、総修得単位数76単位以上でなければならない。

（注1）休学期間は在学期間に含まない。